がくしゅうかだい (2ねんせい)



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

くべんきょうすること>

- ◆「うれしいことば」(きょうかしょ 60~61 ページ) にとりくみます。
 - ① どんなときに、どんなことばを言ってもらうとうれしいですか。(れい)のようにノートやとりくみシートに書いてみましょう。

^(れい) がんばった とき	すごいね。がんばったね。
(1)がんばった とき	
(2)こまった とき	
(3)はじめて できた とき	

② 言ってもらってうれしいことばを文にしてみましょう。

(れい)

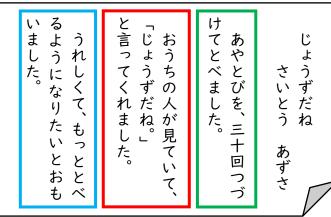
文にするときは、

どんなときに言われたか

だれにどんなことばを 言ってもらったか

自分のきもち

のじゅんに書きます。



◆「かん字のひろば」(きょうかしょ62ページ) にとりくみます。

きょうかしょ 62 ページにあるかん字をつかって、 文をつくります。文のおわりに、まる(。)をつけましょう。

<保護者による関わり方のポイント>

※可能な範囲でお願いします。

- ・うれしいことばを3文程度で書きます。「文のまとまりで改行すること」と、「かぎかっこは改行すること」が基本となりますが、文の書き方については85ページで改めて学習を行います。
- ・今回は「どんな時(緑)→誰に・どんな言葉(赤)→気持ち(青)」の順に書くことにしましたが、文がこの順になっていない場合でも、どんな時にうれしい言葉を言われたかが伝わる文章になっていれば、順番が入れ替わっても問題ありませんので、うれしい言葉をかけてあげてください。

・赤い夕日がきれいだな。 ・川をこえていくと、王さまが・川をこえていくと、王さまが ・しまには、田んぼがあります。